

Campus News

[キャンパスニュース]

2024. **1**
Vol.63

【特集】

- 学生フォーミュラ日本大会2023 結果報告
- キャンパスライフにFOCUS ～学生活動ご紹介～
- 静岡大学と包括連携協定を締結しました
- 関東大震災から100年、本学で3つの防災イベントを実施しました



■「ありがとうエコパ」様々な想いを胸に挑んだ学生フォーミュラ2023

2023年8月28日～9月2日に学生フォーミュラ日本大会2023がエコパで開催され、
本学の自動車部が出場しました(本誌4面に特集記事)。

はじまりを、つくる



静岡理科大学





学長挨拶

多様な個人に、多様な価値創出を

学長 木村 雅和

令和4年4月、静岡大学電子工学研究所所長という静岡大学での籍を置きつつ、静岡理工科大学の学長へと就任して以来、両大学の特性を活かした相互協力の進展と、更なる発展を図ることに注力して参りました。その取り組みの一つの形として、令和5年10月に「静岡大学との包括連携協定」を締結いたしました。

今般締結した連携協定によって、両大学の教員間の研究を深化させるだけでなく、教育内容の拡充、学生間交流の推進、きめ細やかな地域連携活動の進展、さらには、国際化への対応などを念頭におきつつ、教育・研究・社会貢献の諸活動を推進させる基盤として、両大学の機能強化を図ります。これらを基盤とし、多様な価値創出の実現に向けた取組みを本年も展開して参ります。

さて、昨年6月に閣議決定された第4期教育振興基本計画では、「2040年以降の社会を見据えた持続可能な社会の創り手の育成」および「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」をコンセプトとして、我が国における教育の方向性が示されました。

今回新たなものさしとして「ウェルビーイング」が用いられたことは大変興味深いことではないでしょうか。学びを通じて知識や技術を得るだけでなく、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福感を高めることもこれからの教育に期待されており、教育機関も「変える・変わる」必要がありそうです。

そんな中、本学は2017年の建築学科開設以降、2020年にデータサイエンス専攻、2022年に土木工学科を開設するなど、IoT・AIによるデジタルの進展やコロナ禍による生活様式の変容など、社会の変化と同様のスピード感を持って本学も「進化」を遂げて参りました。

そして2024年4月には、新たな教育研究活動拠点となる「SISTグループ静岡駅前キャンパス」を開設します。静岡駅前キャンパスには情報学部の4つの研究室が移設し、研究を通じて得られた成果をビジネスや地域の発展に活かすと同時に、研究者や学生が企業や地域の人々と繋がり、交流していくという効果も期待しています。また、本学の特性や強みを活かした「リカレント教育やリスキリング」も展開します。加えて本学では学生への「アントレプレナーシップ教育」や、研究者への伴走支援による「大学発ベンチャー創出」など、先にお話した静岡大学との連携協定等を踏まえ、体制構築による地域創成の支援または、起点となる様々な活動を推進して参ります。

いずれも従来に増して「多様な個人」を対象とする取組みであり、地域の皆様や本学に通う学生の自己実現を支援することになると確信しております。今後は地域社会、大学に個人の力を加えた相互協力を一層強化、充実させ、地域社会に根差した大学として、未来を見据えた人材育成・研究活動を展開したいと思っております。

遠州灘

この場を借りてキャンパスの自然の一端を紹介します。キャンパスの地下には固結した粘土層があり、その辺りの地層から材化石（樹木の幹などの化石）が出土します。それは硬くて重くてまさに「石」ですが、樹皮だったと思われる部分が表面に確認できます。かつて地元の小学生に見せたところ、「鱈節のようだ」という感想でした。10数年前、学内の物理学の先生に、この材化石を年代測定できる装置があるか尋ねました。すると、「そんな高価な装置は学内にはないよ」という返答でした。やむなく文献で調べた結果、その粘土層は約90万年前？の地層のようです。化石としては少しも古くないし、おそらく現生種の樹木ですが、豊かな自然は地下にも眠っていることを教えてください（A）。



授業の紹介

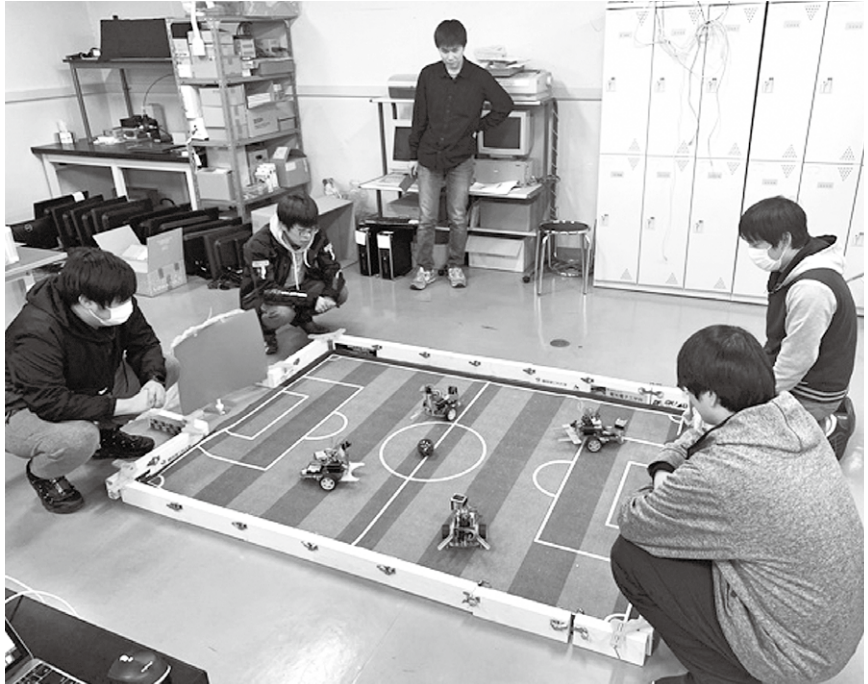
■ 応用電子工学実験

近年IoT化が急速に進み、日常生活のあらゆる場面・機器で、マイコンや、センシング・情報通信技術が活用されており、これらを融合したシステム開発力を養うことが益々重要となっています。

本実験前半では、マイコンを用いたトランジスタによるモータ制御、光センサによる距離や明度測定、さらにはラジオ製作を通じた電波利用まで、様々な技術開発・評価実験を行います。また後半は、これら技術を融合し、学生自ら自律型ロボットを設計・開発し、競技会を行います。

競技内容は、サッカー、ラグビーといったスポーツ、さらにはお茶運びといった生活に密着したもので、様々なテーマに向けた開発を行ってきました。

毎年競技会は非常に盛り上がり、学生は講義時間ギリギリまで、ハード・ソフトの調整に挑み、何度も競技に参加、忙しくしています。また競技終了後のレポート提出では、自身の工夫点や改善点を大いにアピールしながら、第三者がその試みを再現できるように、技術を伝えることができる力も養ってもらいたいと考えています。



ナノ材料研究室 (物質生命科学科)

おじゃまします。

研究室訪問

第51回



私の研究室では、ナノ材料の形成、制御、及びその評価に関する研究を行っており、新しいナノ材料をつくり、環境・エネルギー問題の解決に取り組んでいます。特に最近では、量子ドット(半導体ナノ結晶)に注目した研究を展開しています。量子ドットでは、量子サイズ効果とよばれる粒子のサイズを変えるだけで発光する色(発光波長)を変えることができる特異な物性が発現します。発光色を任意に調整できるので、緑・赤色の量子ドット蛍光体はディスプレイに搭載されています。小さな蛍光体であるため、がん細胞などに量子ドットをくっつけて蛍光像を観察するバイオイメージング技術にも応用できます。また発光だけではなく、光を吸収し電気エネルギーに変える量子ドット太陽電池としても活用できます。

研究室学生からひとこと

谷口 柁斗さん

(理工学部 物質生命科学科 4年)

私は、量子ドット蛍光体をバイオイメージングに応用する研究を行っています。配属当初は、覚えることも多く大変でしたが、今年(2023年度)のノーベル化学賞に「量子ドット」が選ばれたこともあり、自分の研究により興味を持ち、意義を感じるようになりました。研究生活では、量子ドットの作製や分析を効率的に進める計画能力や、データを解析して問題点を様々な角度から解決する力が必要であり、研究を通して、社会に出ても必要な「考える力」を身に付けています。

研究室担当教員

佃 諭志先生

■プロフィール

兵庫県神戸市出身。北須磨高等学校を卒業後、新潟大学工学部卒、大阪大学大学院工学研究科修了(博士(工学)(2007年))。東北大学多元物質科学研究所助教・講師を経て、2022年に静岡理工科大学に准教授として着任。専門は、ナノ材料科学。材料系、物理系授業を担当。著書として、「次世代ディスプレイへの応用に向けた材料、プロセス技術の開発動向 [分担執筆] (技術情報協会)」、「金属ナノ粒子、微粒子の合成、調製と最新応用技術 [分担執筆] (技術情報協会) などがある。

EV部門2連覇は逃すも、並みいる強豪大学を退け プレゼンテーション賞2位、ベスト三面図賞1位を獲得!



2023年8月28日～9月2日に学生フォーミュラ日本大会2023がエコパで開催されました。EV部門前回王者として臨んだ本大会、連覇こそ逃したものの、プレゼンテーション審査などの静的審査では、並みいる強豪を退け大躍進。次回へと繋がる大きな一歩を踏み出しました。今回の大会はテレビ番組でも取り上げられ、多くの反響をいただいた大会になりました。

2024年大会は愛知県国際展示場に会場が移されるため、今大会はエコパで開催される最後の大会。静岡理工科大学のマシンには「ありがとうエコパ」の文字が刻まれ、様々な想いを胸に挑んだ大会でした。

開催結果(受賞項目の概要)

ベスト三面図賞……………設計行為の集大成である「図面」を通じて審査員に最も多くの情報を的確に伝えたチームに送られる賞

プレゼンテーション賞……プレゼンテーション審査の得点が最も高いチームに送られる賞

今大会を終え、さらに次回大会に向けて

24年度チームリーダー 機械工学科 1年 **今井 啓心** さん

EV部門日本一の座を堅持するため、全競技をノーペナルティで完走完遂することを第一の目標として掲げ、ノーペナルティで最終日を迎えました。しかしながら、エンデュランス[※]ではシステムトラブルが発生し最後まで走り切ることが出来ず、非常に悔しい結果となりました。

来年は今大会の良かった点、悪かった点を再度検討し、特に力を入れてきた静的審査をはじめとしたノウハウや技術の引継ぎを早急かつ確実に、丁寧なフォローやマネジメントを行いたいと思います。

大会本番ではチームメンバー全員が車両の詳細設計や運動特性等を十分に理解した上で、自信を持って走行ができるよう、チーム一丸となってこの活動に取り組んでいきます。

[※]エンデュランス：2人のドライバーが交代し約20kmを走る耐久レース。走行時間によって車の全体性能と信頼性を評価する。完走しないと全くスコアが得られないため、完走できるかどうか総合成績に大きく影響する。



▲Youtubeから「決戦はエコパ」で検索!



キャンパスライフにFOCUS!

今回の特集では4つの学生活動を紹介します。授業や講義の傍ら、主体的に活動する学生の姿を少しだけお届けします。



●STEP (Smart Tech Education Platform)

主な活動として、毎週火・水曜日に掛川市・袋井市で中学生向けのプログラミング講座を開催しています。講座の企画から実施までを一貫してSTEPのメンバーで担当しており、講座中に利用するタイピングソフトの開発や、団体内でのBBQなど、様々な交流イベントにも積極的に取り組んでいます。

情報学部 コンピュータシステム学科 データサイエンス専攻 3年 **山中 碧音** さん

私たちの目標は、日本全国において地域のプログラミングクラブが一般的な存在となることです。STEPのメンバーは皆真面目で活動的な人ばかりです。IT教育がますます重要視され、授業も必修化される中で、私たちの専門的な知識を活かして地域社会に貢献することは非常に有意義だと確信しています。



●天文学同好会

不定期で、大学構内での天体観測や、名古屋市立科学館でのプラネタリウム鑑賞を行っています。一昨年の夏に設立したばかりで、表向きは天文学の知識を深めることが目標ですが、空を見て、普段の生活から一歩離れて、何気ない時間を過ごすことができるサークルでありたいと考えています。

大学院 理工学研究科 システム工学専攻 1年 岸本 杏樹 さん



今年は中秋の名月の日＝満月の日ということで、見晴らしのいい、やらまいか創造工学センターの屋上にて、手作りの月見団子を食べながら、月を眺めました。望遠鏡を覗いたり、写真を撮ったり、友人と語りあったり、各々ゆったりとした時間を過ごせていたら嬉しいです。今後は移動天文台なども考えていて、段々と活動を広げていきたいです。



●サイバー防犯ボランティア

サイバー防犯ボランティアでは、サイバー空間の規範意識の改善と安全で安心して利用できるインターネットの確立を目的に、違法サイトや悪質な書き込みを見つけ、警察へ報告する活動を行っています。また、警察の方と一緒に高等学校に出向きSNSの危険性について話をしたり、注意喚起のキャンペーン動画作成や街頭での広報啓発活動を行っています。

機械工学科 4年 山本 花音 さん

サイバー空間には多くの情報がありますが、実は悪質なものも多く犯罪に巻き込まれやすい環境であることを知りました。誰もがインターネットを使う時代だからこそ、利用者には正しい知識を身に付けてもらい、違法サイトを報告して減らしていき、安全で安心なサイバー空間になるよう今後も活動を続けていきたいです。



●図書館プロデュース「学生選書ツアー」

9月13日(水)MARUZEN&ジュンク堂書店新静岡店にて、学生選書ツアーを実施しました。

学生選書ツアーとは、学生の皆さんが直接書店に出向き、自分の興味・関心のある本や図書館に置きたい本を選ぶ企画です。店頭には並ぶ様々なジャンルの本の中から、手にとって選んでいくのは、楽しい時間であり貴重な体験になったかと思います。参加者した学生4名と職員1名で45冊の本を選び、選書した本は学生の推薦文付きで展示をおこないました。図書館では、このような選書ツアーや、コンシェルジュ・LA(学生選書委員)による選書、リクエストボックスの活用などを通じて選書に学生目線を取り入れ、蔵書の充実に努めています。



＜学外の方へ 図書館利用についてのご案内＞

静岡理科大学附属図書館は、理工学系を中心とした専門図書や雑誌、視聴覚資料などを所蔵しており、学外の方にも開放しております。卒業生の方、袋井市および隣接する市町に在住・在勤の18歳以上の方には、利用者証の発行により図書の貸出も行っています。開館日やご利用について、詳しくは図書館Webサイトをご覧ください。



先生、どうして研究者になったの？

このコーナーは、静岡理科大学で働く先生がどんな人なのか、研究者の道に進んだ理由、どんな研究をしているかなどを紹介していきます。

今回は理工学部 土木工学科の居波智也先生にお話を聞きました。



- 【氏名】** 居波 智也 (いなみ ともや)
- 【研究室名】** 海岸工学・再生可能エネルギー研究室
- 【所属職位】** 理工学部 土木工学科 准教授
- 【生年月】** 1981年生まれ
- 【出身地】** 岐阜県羽島郡岐南町出身
- 【簡単な経歴】** 東海大学大学院海洋理工学専攻を修了後、株式会社ヒラテ技研エコエネルギー研究所に入社。その後退社し、東海大学に戻り恩師の下で研究を続けながら2017年に博士(工学)を取得。2023年に本学に着任。
- 【趣味】** 生き物の飼育(カブトムシやクワガタムシ、熱帯魚、蘭や観葉植物、最近では子供が捕まえてきたカマキリやカナヘビも)
- 【座右の銘】** 継続は力なり、T字型の人間
- 【愛読書】** 釣りキチ三平、月刊むし、アクアライフ

変人(我がまま)かもしれない

幼少期～青年期の私は専ら、昆虫飼育や釣り、生き物採集に情熱の全てを注いでいました。カブトムシの研究に端を発し、毎年テーマや対象を変えて生き物の研究をしていました。また同時期に、岐阜城のふもとにある名和昆虫博物館という(私にとっての)聖地に入り浸り、昆虫採集と標本づくりにも没頭していました。この頃すでに今の自分が形成されていたと自認しています。高校生となった私は、ついに輸入が解禁された海外の昆虫にどっぷりハマリ、より趣味に生きるようになりました。

大学では、適度な自然環境下にある東海大学海洋学部で海洋土木を学びました。1年次、基礎教育科目の大切さに気が付かず、一時は大学に行く意味を模索していましたが、2年次、専門科目での講義で面白い先生(恩師)に出会い、地球環境という壮大なキーワードに魅了され、学びを深めていくことになりました。それから現在に至るまで、バイオマス、風力、波力と再生可能エネルギー、海岸工学の分野で生きています。



Photo by Inami

▲羽化直後のヘラクレスオオカブト



Photo by Inami

▲卵を背負うコオイムシ

このままで良い

これまでの人生を振り返ると、皆と同じ時間を過ごし周りに助けをもらいながらも、常に自分を深められる時間を確保することができました。哲学というほどではないのですが、自分に正直に生きてきた証だと思います。したがって、これからも「このままで良い」と考えています。

42歳になった現在も、生き物の飼育や採集、観察は欠かせないライフワークとなっています。今年のGWには、地方にある山中の池でコオイムシを探し、ついに、名前の由来でもある卵を背負ったオスの姿を観察することに成功し、愛息子たちと大興奮しました。昨年11月にも同じ場所を訪れ、水生昆虫たちの冬支度を観察して喜びを共有しています。

「このままで良い」とはいえ、最近の私を客観視すると、無意識に自分の喜びを次の世代と共有する方法を考えています。これが「教育」の起源かもしれません。そんな私自身の行動原理に従って、これからも自分に正直に一步一步進められればこの上ない幸せだと思います。

インタビューを
終えて

生き物の飼育へ熱い情熱を注ぐ居波先生。土木工学科(専門は海岸工学)の先生であることを忘れてしまうほどの圧倒的な探究心がとても印象的でした。

特集④

静岡大学と包括連携協定を締結しました

令和5年10月3日、静岡理工科大学は静岡大学と教育、研究、地域貢献、学生・教職員の交流に関する包括連携協定を締結しました。

今後は学生が相互の大学の授業を受けられる単位互換制度の導入や、両大学のキャンパスを拠点として本学の教員や学生が常駐し共同研究が可能となる環境を整備していきます。



特集⑤

本学の防災教育センター主催で、3つの防災イベントを実施しました

関東大震災から100年の節目となった2023年。

土木工学科と建築学科の教員が中心となり、独自の防災教育活動を通じて、高校生や市民向けに防災に対する知識や意識の向上を目的として活動している「防災教育センター」が3つの防災イベントを実施しました。

9/23 自衛隊に学ぶ防災

自衛隊静岡地方協力本部から講師をお招きして、水害や自衛隊の発災時対応などについてお話いただきました。体験講座では、「土のう」の作り方やロープ1本を用いた実習など、現場で使えるテクニックの一端を教えていただきました。



11/3 まちあるきで学ぶ防災(親子編)

袋井市役所を起点に、街を歩き、堤防や川を眺めながら、約3.4kmの道のりを2時間かけてゆっくり歩きました。道路や舗装をじっくり見てマンホールの違いを確認したり、橋梁を下から観察したり、普段気づかないことや、古い街並みと土地の成り立ちの関係などを実感してきました。



11/4 まちあるきで学ぶ防災(高校生編)

「安心安全な暮らしを支える道路の健康診断」と題して、道路のひび割れや段差がどのように発生したのか、また、安全なのかそうでないのかを点検しながら、まちあるきをしました。まちあるき後は意見交換を実施し、参加者同士で着目点を共有し、意外な気づきや発見もあり、楽しく盛り上がりました。



次回予告

令和5年度 第2回公開講座

袋井市出身
磐田南高校 卒

【開催日】 令和6年3月2日(土) 13:20~15:35

【会場】 静岡理工科大学

【講演タイトル】 『フィールドワークに宿る美学』

近年、重視されがちなコストパフォーマンスやタイムパフォーマンス。その対極に位置するからこそ、本質に出くわすことができる。

令和5年度 第2回公開講座では2名の講師に「フィールドワーク」を通じて広がる世界観をお話いただきます。

講師は、天然物化学を専門とする静岡理工科大学物質生命科学科の鎌田昂准教授と、霊長類の研究に取り組む京都大学野生動物研究センターの松田一希教授(袋井市出身)です。

2人の研究者による魅惑的な世界をどうぞお楽しみください。



お申し込みはこちら



理工学部
物質生命科学科
鎌田 昂 准教授



京都大学
野生動物研究センター
松田 一希 教授

ひらめき☆ときめきサイエンス

理科実験教室イベント「ひらめき☆ときめきサイエンス」を開催しました。この事業は、小学5年生～高校生を対象に、大学や研究機関で行われている最先端の研究成果を、直に見る、聞く、触れることで、科学のおもしろさを感じてもらう日本学術振興会の助成により実施しているプログラムです。今回は小中学生向けに合計6件のプログラムが開催され、多くの参加者に本学で取り組んでいる研究を体感していただきました。



No.	開催日	テーマ	講師
1	8月19日	防げるか堤防決壊! 伝統の水防工法で水害に挑む	土木工学科 教授 松本 健作
2	8月25日	「蛇籠(じゃかご)教室」～現代に生きる紀元前の伝統的土木技術に触れてみよう!～	土木工学科 教授 中澤 博志
3	10月7日	走れ化学ロボット! いきものように走る油滴をつくろう2023	物質生命科学科 教授 南齋 勉
4	11月4日	抗菌・抗ウイルスグッズを作ってみよう! ～天然由来の染料と香料の再利用～	物質生命科学科 准教授 鎌田 昂
5	11月11日	温度や光で変身! 不思議なプラスチックに触れてみよう	物質生命科学科 准教授 小土橋 陽平
6	11月11日	建物vs地震 ― 建物は地震でどんな被害を受けるの? ―	建築学科 教授 崔 琥

市民体験入学

昨年8月26日(土)、本学にて市民体験入学を開催しました。今回は大学キャンパス内で完全対面形式での開催となりました。全体講座では民間宇宙飛行士のTAICHI氏に、「夢の宇宙旅行時代の到来」をテーマにご講演いただきました。選択講座では、体験講座6つを含めた8講座を実施し、受講者はそれぞれ希望する講座へ参加しました。



SISTコロキウム

昨年9月10日(日)、本学と静岡市の会場をオンラインで繋ぎ、SISTコロキウムを開催しました。本学では掛川西高校と磐田南高校の生徒が、静岡会場では科学技術高校の生徒が話題提供者となり、課外活動で取り組む研究テーマの成果や課題を発表しました。各高校が準備したテーマについて発表し、参加者同士で意見交換を交わす場となりました。



SIST体験型講座

昨年9月20日(水)、本学先端機器分析センターでSIST体験型講座「ICP発光分光分析の基礎」を開催しました。今回は株式会社日立ハイテクサイエンスの夏井様を講師としてお招きし、実習中心の講義を行いました。実際に測定を行いながら、装置の原理や仕組みについて解説いただき、多くの参加者から好評を頂きました。



テーマ別交流会

昨年9月21日(木)、学内に拠点を構えるふくろい産業イノベーションセンター主催で、「ヤングケアラー～在宅介護等における負担軽減」をテーマとした交流会を開催しました。今回の参加対象者は県内大学の現役の学生とし、当日は6大学から計11名の学生が集い、話題提供者として参加いただいたNPO法人CoCoTELI 理事長平井 登威さん(浜松市出身 関西大学4年生)の講演後、意見交換を行いました。



コミセンDEお理工塾

昨年10月14日(土)および28日(土)に、袋井市内のコミュニティセンターで、学生団体「お理工塾応援隊」が講師となり、小学生対象の理科実験教室イベント「コミセンDEお理工塾」を実施しました。「ダイヤタンスー現象の実験」、「万華鏡の製作」などをテーマに実験講義を行い、理科実験の楽しさを伝えました。



大学祭「SISTIVAL」

昨年10月21日(土)から22日(日)にかけて、大学祭実行委員会主催の大学祭SISTIVALを開催しました。今回は、4年ぶりに入場制限を設けず開催し、2日間で多くの一般市民の方に来場いただきました。当日は学生サークルなどの団体が、作品展示やライブ等を行ったほか、近隣企業による「物産展」を同時開催し、特産品のメロンやお茶、地元洋菓子店や食品会社による販売会などが行われました。



地域学 表彰式

昨年11月14日(火)、本学にて「地域学」の表彰式を行いました。「地域学」は袋井市との包括連携協定の取り組みの一環として、袋井市のまちづくりについて考える講座となります。参加した学生が4~5人のグループに分かれ、市の若手職員と共に市の特徴を生かした具体的な政策を提言します。今回は「袋井の海と生きる」をテーマに実施し、市長賞には「DORIマリンパーク」が、学長褒賞には「同笠海岸を盛り上げる!! ~メロンタワーで安心・安全~」が選定されました。



地域創成フォーラム

昨年11月14日(火)、ホテルクラウンパレス浜松で、令和5年度地域創成フォーラムを開催しました。第1部の特別講演では、株式会社アルファコード 代表取締役社長 兼 CEOの水野拓宏氏をお招きし「VRとメタバース技術が切り開く日本の未来」をテーマに講演していただきました。また、本学教員による研究活動紹介、本学教員と参加者が意見交換・情報交換をする「ブース展示」を実施し、地域企業の皆さまとの交流の場となりました。



公開シンポジウム

昨年12月9日(土)、「スポーツサイエンスとしてのeスポーツを語る」をテーマに、公開シンポジウムを本学で開催しました。第1部の基調講演では、順天堂大学スポーツ健康科学部 准教授 河村 剛光 氏が「スポーツ科学の研究者から見たeスポーツ」をテーマに講演を行いました。第2部では、株式会社DibblebiziA 代表取締役の長田勇樹氏もパネリストに迎え、本学教員の他、eスポーツサークルとゲームサークルの学生を含めてパネルディスカッションを行いました。



SISTスピーチコンテスト&Xmasパーティ

昨年12月22日(金)、本学でSISTスピーチコンテストとXmasパーティを開催しました。

スピーチコンテストでは、日本人学生による英語スピーチ、留学生による日本語スピーチで各々の意見を母国語以外で発信しました。

学生食堂で開催したXmasパーティには、スピーチコンテストの参加者に加え、本学系列校の浜松日本語学院に通う留学生も参加し、約30名がチキンやケーキを食べながら交流を深めました。



4年ぶり通常開催で過去最大の参加者!!

オープンキャンパス&大学見学会

4年ぶりに制限のない開催となり、オープンキャンパスと大学見学会併せて延べ1300名を超える参加者をキャンパスにお迎えしました。県外からも多くご参加いただきましたこと、改めて御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

来年度以降もさらに充実したオープンキャンパスにできるように尽力してまいります。

オープンキャンパスの様子は【静岡理科大学公式YouTube】にアップしておりますので、是非ご覧ください。



受験生サイトが
リニューアルしました!

デザインを一新し、より見やすさと分かりやすさを重視したサイトになりました。
受験生以外の方にも楽しんでもらえるコンテンツが盛りだくさんになっております。

受験生サイトはこちらから <https://navi.sist.ac.jp/> ➔



活躍する卒業生

株式会社シーエル 海老名センター

パウデル・サンジープ さん

(情報デザイン学科 第27期卒業生(ネパール出身の最初の卒業生))

(1) 学生生活について

大学時代、私は応用言語学研究室に所属し、日本に暮らすネパール人が地域の言語変種(方言)をどのように認識しているのかについて調査を行いました。卒業時に優秀賞をいただいたことは良い思い出です。また、研究室の仲間とは、互いに文化や言語の違いを超えて、楽しく交流することができました。

卒業研究においては、自ら問いを立て、主体的に学ぶ姿勢を身につけることができました。また、フィールドワークを行い、言語データを収集・分析し、文章化する、という一連の作業を丁寧に行いました。これは、在庫管理の最適化や業務の改善、チームマネジメント、報告書の作成などに役立っていると感じます。

(2) 現在の仕事について

物流倉庫管理者として、物品の入荷から保管、梱包、出荷に至るまでのプロセスを管理しています。さまざまな技術やシステムを用いて、業務の改善、効率化を図っています。在庫や配送スケジュールの管理、倉庫内の安全性の確保、アルバイト従業員の業務管理・教育、取引先との調整も行っています。

自身の専門知識や業務経験を活かし、地域社会に貢献できるような事業に関わりたいと考えています。例えば、環境への負荷がかからない物流システムやルートのコ案に取り組んでみたいと思います。また、外国人就労者が働きやすい労働環境の実現に向けて、職場の多様性を育む取り組みにも挑戦したいです。



第21回同窓会ホームカミングデーを開催しました！

昨年10月22日(日)に、同窓会ホームカミングデーを開催しました。

当日は学生食堂を会場として、大変多くの方々にご参加いただき、久しぶりに同窓生の皆さまが交流できたイベントとなりました。

今後も同窓生のネットワークが充実するよう、イベント等の開催に努めてまいりますので、引き続き同窓会活動にご理解とご協力の程、宜しくお願いします。



同窓会各種SNSのお知らせ

同窓会活動についての発信について、新たにInstagram、X(旧: Twitter)の運用を開始しました。皆さん【友だち登録】をお願いします！



保護者懇談会の開催



昨年10月21日(土)に「保護者懇談会」を開催しました。全体会では栗原後援会長より御挨拶をいただき、後援会の活動状況及び、今年度のキャンパス内環境整備と計画についての報告がありました。

本懇談会では、さらに、株式会社就職情報センター代表取締役の秋山和則氏をお招きして「就職を取り巻く環境変化と支援の在り方」と題してご講演いただきました。

多くの就職支援を行ってきた経験から、家庭でのお子様との向き合い方・接し方等について丁寧に説明していただき、来場された方々も熱心に耳を傾けていました。

学科別懇談会では各学科の教員紹介や授業の様子、カリキュラム、学生成績、就職状況等について説明を行いました。また、助言教員との個別面談では、修学状況や就職活動状況、学生生活等助言教員と直接相談できる貴重な機会となりました。

人事異動

令和5年7月1日付採用



建築学科
准教授
林 英昭

専門分野 建築史

略歴 早稲田大学大学院理工学研究科建築学専攻後期博士課程満期退学後、同大学理工学術院助手、ものづくり大学技能工芸学部准教授等を経て、本学准教授に就任。

趣味 読書、寺社巡り

令和5年9月19日付採用



土木工学科
教授
**マハパトラ
ケダーナッシュ**

専門分野 海洋環境工学、気候変動と自然災害、人工衛星リモートセンシング

略歴 インド・バラハンプル国立大学修士課程海洋科学専攻修了後、オリッサ州応用リモートセンシング研究所に勤務。その後東海大学にて博士(工学)取得し、東海大学海洋学部講師・研究員等を経て、本学教授に就任。

趣味 音楽鑑賞、旅行、料理

2023年度前期 学生表彰

優れた活躍や学生の模範となる顕著な成績を上げた学生の表彰を行いました。受賞者は次の通りです。



受賞者の皆さん、おめでとうございます。

学生部長表彰 佐原 悠理 さん
(情報学部 コンピュータシステム学科 4年)
「サイバー防犯ボランティア」感謝状

学部長表彰 高井 健人 さん
(情報学部 コンピュータシステム学科 3年)
データベース・スペシャリスト試験合格

学部長表彰 山崎 綾一郎 さん
(情報学部 コンピュータシステム学科 4年)
一般社団法人情報処理学会 学生奨励賞

奨励賞表彰 齋藤 琢真 さん
(理工学研究科 システム工学専攻 2年)
現代美術家協会 入選

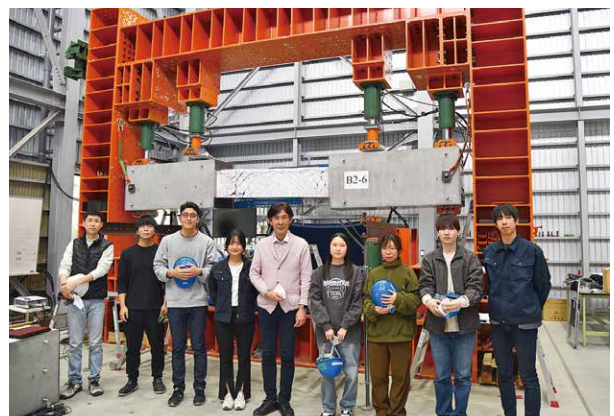
スポットライト がんばる理工科大生

清水 萌衣 さん

(理工学研究科 システム工学専攻 建築学コース 2年)

現在、大型商業施設や物流倉庫等で普及している構造について研究しています。地震時に柱と梁が交わる接合部には大きな力が働くため、新型接合部を対象に実験と解析を用いて性状を明確にし、実用化を目指して検討を行っています。研究室には、探求心と粘り強く取り組む姿勢を持つ仲間ばかりで、日々刺激を受けています。この環境で「快適かつ安全な空間を提供する」目標を掲げ、ゼミや実験、学会に参加し、積極的な交流・意見交換を通して、スキルアップをしてきました。昨年は公益社団法人日本コンクリート工学会で、特に優秀な講演を行ったものを対象として贈られ

る、年次論文奨励賞をいただくことができ、誇りとやりがいを感じました。また、これまでの活動や姿勢が評価され、ゼネコンへの内定が決まり、夢である構造設計士への道も切り拓くことができました。尊敬できる教授や仲間とともに取り組めることは私にとって大きな財産だと思っています。今後も、専門知識のさらなる向上と自身の成長のため、目標に向かい取り組んでいきたいです。そして、建築を通して社会のニーズに応えていきたいと考えています。



編集後記

おかげさまでVol.63の発刊に至りました。対外活動と学内活動、学生と卒業生と教職員、授業と研究と課外活動といった記事で紙面を飾り、多彩な内容構成になりました。本学が30数年を経て多彩になった証しだと思います。多彩はバラバラの裏返しだと貶められることもありますが、多種多様な部分を結びつける想像力があれば、また各部分がしっかり展開していれば、四分五裂に陥ることがありません。多彩な営みは豊かな発想と寛容の精神を育ててくれます。大学とは、本来そのような発想と精神を尊重するところでしょう。時代の流れは、凝り固まった視点や偏狭な精神を克服することを、さらに求めていると感じます。SISTに多彩な花を咲かせたいものです(A)。

静岡理工科大学キャンパスニュース

令和6年1月31日発行

企画・編集・発行／静岡理工科大学 大学広報委員会

〒437-8555 静岡県袋井市豊沢2200-2

TEL.0538-45-0111 FAX.0538-45-0110

<https://www.sist.ac.jp> E-mail:shakai@sist.ac.jp

